



●日本共産党掛川市議会議員 勝川 しほこ (22)1325
掛川市塩町 3-7

●日本共産党掛川市政策委員長 大井 正 (23)1848
掛川市家代 2194-6

市議会にもっと市民の声を届けたい 対談5

平和でなくっちゃ始まらない

★勝川 私の平和の

原点は大学時代を過ごした広島です。被爆者の方も身近にいたし、核兵器・戦争のない世界が自分の幸せの絶対条件だと思いました。2015年の安保法案が国会で強行採決されそうになったときには、国会前行動に何度も通いました。



☆大井 私も行きました。格安のカプセルホテルに泊まって、3泊4日で国会前行動をしました。私も平和活動の原点は、大学時代に広島・長崎の原爆の実態を学習したことです。当時の私はそのあまりの非人間性を嫌悪し、『直視したくない』という気持ちも正直ありました。

★勝川 命を脅かすものに女性には敏感です。10年前の福島原発事故はまだ終わっていません。放射能は未だに出続けている。震源域の真上に建っている浜岡原発を地震の危険が高まっている今動かすなんてありえないです。ずっと掛川駅前で金曜日夕方「金曜アクション」のスタンディングに参加しています。

☆大井 浜岡をはじめ、原発の再稼働は絶対認められません。それは万が一の事故に対する安全が担保できないことと、それ以上に原発を稼働させる限り「処理できない放射性廃棄物」が発生し続けるからです。

☆大井 先日各戸に郵送された中電からのチラシにはいまだに原発は経済的との記述が。原発事故の補償額が10兆円を越え、廃炉費用は全く見通せないのに、軍事費を削れば世界中のコロナ対策が一気に進みます。争っている場合ではありません。

☆大井 まったくその通りで、政治指導者は“人類の共存共栄”のために何をなすべきかを最優先に検討すべきです。

【勝川議員の市政報告】

「コロナ禍の教訓が生かされていない改訂版・掛川市の総合計画」

2月定例会に改訂版・掛川市の総合計画が提出されました。市の今回の提案には「DX(テクノロジー)の活用による生活の変化」推進「移住促進のチャンス」まちづくりや施策への企業参加「歳入の削減にみあう公共施設のマネジメント」などが。

コロナの教訓を加味して改訂するということで期待をしていますが、期待外れでした。自己責任を強調する新自由主義が危機を広げました。一見ムダに見えるゆとりこそが安心安全を支えます。

外国に依存しすぎる経済ではなく、地域でお金のまわる社会

大切な医療・介護・教育・福祉はコスト削減に走ってはいけません。開発優先で右肩上がりを目指す社会を見直すべき時だと思います。

皆さんはこのコロナを経験した後、どのように社会が変わるべきだと思いますか？

今回出された総合計画の改訂に私は賛成しませんでした。

の方が危機の時は強い。感染症に国境はなく国際協力が必要なこともしりました。

ビキニデー集会で、家の軒先に折り鶴と「祝核兵器禁止条約発効」の掲示を広めている新潟の方のお話がありました。早速掲示してみました。



祝核兵器禁止条約発効

大井正



にいろいろ聞いてみよう⑤

【質問】 共産党に入党した動機・きっかけはなんですか？

掛西高時代からベトナム戦争など平和の問題に関心があり映画会などに参加していました。山梨大学に入り下宿の先輩のすすめで学生自治会の活動に参加するようになりました。様々な社会の矛盾を学ぶ中で大学1年の時に共産党に入党しました。近い将来「国民が主人公」の民主的な政府を作ろうとの熱い思いでした。

日本共産党 演説会

3月20日(土) 入場無料

●午後2時～3時10分

●掛川市生涯学習センターホール

《お話しするのは》

- ・しまづ幸広(前衆議院議員)
- ・勝川しほこ(掛川市議会議員)
- ・大井正(日本共産党市政策委員長)

定数の1/3で座席設定、検温、消毒、換気など万全の感染予防対策でとりくみます。



←複数議席回復特設サイト

(主な活動地域) 勝川:東、北、栄川、城東、大浜、大須賀中学校区 大井:桜が丘、西、原野谷中学校区